



八重桜

● 発行／桜の聖母短期大学同窓会
〒960-8112 福島市花園町3-6
Tel・Fax 024-534-4572
(534-7137 短大事務室)
平成24年3月末現在
卒業生総数／10,641名

神様。私たちは、あなたがお与えくださった宇宙万物の中に、一つの無駄もないということを信じます。

世界の出来事にも、私たちの理解の及ばないことが多いりますが、それもすべてあなたの深い「計画の中」にあります。

旧修道院ミニ

神様。現代日本の私たちは、物。お金。
金・名誉などを追いかけで来ました。
この価値觀から、神様のみ心に立ち戻
るようになり、私たちを激しく振り動か
されたのでしょうか。どうぞ、私たち
を救し、癒してください。

旧修道院ミニアチュア受領にあたつて

「**チエア受領にあたる**」
東北の私たちは確かに多くを失いましたが、全国の、そして世界中の方々から、たくさんの励ましと、祈りと援助を受け、「絆」という貴重な心の宝を得てくださいました。

私たち、花園町のコングレガシオ

神様。たくさんの方々のおかげで与えられたこのすばらしい賜物を感謝し、神様が今もいつも共にいてくださるとの確信を今こゝに深めます。

「**SJ: 今泉ヒナ子先生の祈り**」から
平成24年4月23日贈呈式 同慈心会にて

神様。私たちは、あなたがお与えくださった宇宙万物の中に、「一つの無駄もない」ということを信じます。

世界の出来事にも、私たちの理解の及ばないことが多くありますが、それもすべて、あなたの深い計画の中にあると信じます。

神様。現代日本の私たちは、金・名譽などを追いかけ、この価値観から、神様の立場に立つようにして、私たちを導かれたのでしようか。どうぞ赦し、癒してください。

神様。現代日本の私たちは、物、お金、名前などを追いかけで来ました。この価値観から、神様のみ心に立ち戻るようになると、私たちを激しく揺り動かされたのでしょうか。どうぞ、私たちを放し、癒してください。

ノン・ゼ・ホールドマム修道院の建物の解体も体験しました。でも、この建築の非常に精緻な「アチュア」が、同窓会からの母校に寄贈されました。これも、この機会に創立の精神を更に深く心に刻めとの、ご配慮なじみ深い。

旧修道院模型



写真提供(有)ワタナベスタジオ

【CND記念室】(短大二階)に寄贈

(同窓会東日本大震災支援事業)

ご報告 主な支援事業

主な支援事業

- 義援金 (H23.4.26)
 - ・ 福島民友愛事業団へ 30万円
 - ・ 民報厚生文化事業団へ 30万円
 - 第31期通常総会 (H23.6.5)
 - 第55回卒業生204名を招待 (参加者は県内外から84名)
 - 東日本大震災「ともしび会」 (H23.7.1)
 - パンフレットを旧役員、同生委員「カトリック同窓生会志の会」などへ配布等の協力
 - 旧修道院模型寄贈
 - 外観全体・御聖堂・水彩画 (H24.4.5)

東日本大震災支援委員会
平成23年4月18日～平成24年
10月31日

問の理解協力を得、3.11
前30期、当31期役員・顧
以後一年半余にわたり地域
や母校へのささやかな支援
事業に取り組みました。余
震続くなが、測量、設計図
作成、模型完成まで種々ご
恩になつた春山様はじめ、
佐藤様、齊藤様に紙面をお
借りし心よりお礼申し上げ
ます。桜の聖母学院の復興
は、これからが本番です。
母校支援の輪が広がり、
活動がつながっていく」と
を願っています。

第32期通常総会開催

日時／平成25年6月2日(日) 10時～14時
場所／マルグリット館5F
大講義室 学生ホール(Rm・105)
会費／2千円(当日受付にて)

〈お願い〉当は「東北六魂祭」が開催されるため、短大周辺の交通渋滞
が予想されますので、時間に余裕をもってお越し下さい。

内容／・通常総会・母校の紹介・懇親会
・第4回ホームカミングデー
(古稀・還暦を祝う会)
・会終了後、「CND記念室」の見学自由
※同封のハガキにて、出欠をお知らせください。
〆切は4月24日(水)です。



インタビュー

桜の聖母学院学院長

シスター

柴田香代子先生に聞く

- Q** 3・11から福島はまだ不透明なこの大変な時期に、桜の聖母学院のかじ取り役を引き受けられたご感想を、またこの機会に聖母同窓生の皆さんに一言お願いできましたら。

A 地域の復興があって、学院の復興があると考えています。東日本大震災後の学院の使命は福島の方々のための「希望の星」となることではないのでしょうか。地域の方々の応援で桜の聖母学院は教育という使命を果たしてきました。これからは、苦しくとも地域への恩返しの時ではないでしょうか。

Q 大震災後放射線などの影響で、聖母学院の園児・児童・生徒・学生数の減少はどの程度でしょうか。

A 東日本大震災直後の平成23年の入学者数は放射能の影響で園児数は40%減少、学院全体は平均して20%減でした。その後、園児数の回復は困難ですが、中学高校はわずかですがふえています。希望はもてますね。

Q 多くの同窓生の今一番の関心は、「**桜の聖母学院の未来はどうなるのか**」です。学校法人として、新しいご計画がおありでしたらお聞かせください。

A 新しい桜の聖母学院の未来をつくってゆきたいと考えています。まず最初にこの3月には幼稚園の新園舎を着工します。放射能の影響をさけるため、園舎内にブランコ・すべり台・砂場・鉄棒などを置き十分に体を動かして遊べるようにと計画しています。幼稚園以外でも、児童・生徒・学生が安全で安心して学べる快適な教育環境の整備を計画しています。短大も、今年は第三者評価をうけるべく準備していますので、未来にむかっての変革がすすみます。

Q 先生のお話から、聖母学院に明るいともし火の光がさしてくる思います。学院のご発展と先生のご活躍をお祈りいたします。

A どうぞ、同窓会の皆様も母校が未来に向かって懸命に努力を続けていることをご理解ください、更なる応援をお願いいたします。

しばた かよこ

昭和6年1月25日生 広島県出身 O型

昭和6年1月23日生　広島県
趣味／読書 クラシックギター

趣味ノ読書、ノランノキター
昭和31年3月 岡山ノートルダム清心女子大学卒業

昭和51年3月 高田アーヴィング氏
昭和49年3月 上智大学大学院神学研究科

昭和40年6月 王昌代学へ学修の件修了説明修了
平成 5年4月 桜の聖母短期大学学長

平成13年4月 (宗) コングレガシオン・ド・ノートルダム修道会日本管区

平成24年4月 学校法人コングレガシオン・ド・ノートルダム理事・

桜の聖母学院長



2012年4月開設

英語学科は 「キャリア教養学科」に

東日本大震災から間もなく2年が経過し、
しようとしますが、私たちにもいろいろ
の変更がありました。創立当時から
創設された英語科の改組、馴染みの修
道院の解体など、桜の聖母短大を取り巻
く環境は、変化を余儀なくされています。
その一つ、新学科の誕生をお知らせいた
します。短大は創立当初、英語学科と
家政学科の2つの学科からスタートしま
した。家政学科は、これまでの時代の変
化に応じて、改組を繰り返してきました
が、英語学科は初期のままで踏襲してき
ました。しかし、時代のニーズを考慮す
ると改組に取り組まなければならない状
況になり、2012年の新入生から、新
しい学科の学生の募集に入りました。

卒業生の皆様、ごきげんよう！
2013年、新しい年が明けました。皆
様の上に、聖母マリアのお守りをお祈り
いたします。
遠藤 静子
CND

では、実感できる教育効果が表れていました。それは、学生が「主体性を發揮して社会と関わっていく行動力」に顕著に表れています。2012年9月16日には、南相馬市の「道の駅」において「移動文化祭」を開催しました。文化祭のキヤツチフレーズは、「今日 ゆう S-m-i-e！」桜でつなぐ笑顔のわでした。その他「福医学」という科目を通して、学生们は、福島の復興のために関わり、いろいろな活動やボランティアで活躍しています。学生们は、自分に自信が芽生え、他者が信頼できるようになります。その結果、自分と社会をよくしていく力が育成されると信じています。今後ともご支援を宜しくお願ひいたします。

科」としました。この学科は、桜の聖母短期大学の英語学科と家政学科の伝統を受け継ぎ、生きた英語を使いこなし、自身の「ライフスタイルを確立できる学び」をします。現代社会で必要とされている「社会人基礎力」と「ビジネススキル」を学みました。日本社会の政治経済情勢を学び、社会や企業の仕組みを理解し、自分の将来像を明確に描き、目標に向かって各種資格取得やTOEICなどにも積極的にチャレンジできるカリキュラムを用意しています。就職活動や編入学試験に向けてのサポートシステムも整っています。更に、桜の聖母短大が創立当初から大事にしてきたきめ細かい指導で、「気配り・目配り・心配り」ができる自信に満ちた、女性を育成していくことができる土壌に準備されています。

稿



試練の中にも恵みの足跡

ノートルダム修道会来日八〇年を祝う

去る十月二十日、「ングレガシオン・ド・ノートルダム(以下CNDと略記)は、福島修道院でCND修道会来日八〇周年を祝った。きつかり八〇年前、つまり一九三一年十月二十日の午後、カナダからの第一陣、五人のシスターが、福島駅に降り立つたのであった。

それで、ちやうどその日の、その時刻に当たるようすに計画し、現修道院チャペルにおいて仙台教区長平賀徹夫司教と、ドミニコ会のトマス・パウエル神父により感謝のミサが捧げられた。

東北のカトリック教会の代表者、近隣の方々、旧教職員、古い卒業生を招き、修道会としては東京から寺島京子管区長、カナダから総長シスター・ジョゼフィン・バタリ総長以下三名の総顧問が臨席され、福島花園町と野田町両修道院のシスターと、CNDアソシエートが揃つた。

さて、話は戻つて昭和七年のこの日の午後、福島に到着した黒い車体の下り列車を、福島教会の海老弥六神父と、花束を持ったこどもたちが出迎えた。教会で靴を脱いでスリッパに履き替えることがシスターの第一次の閑門であった。階段で一段ごとにスリッパが脱げて恥ずかしかったと、記録されている。シスターは、現在の新町「一プマート」の

あたりに仮住まいをし、後に本格的な建築をするまでそこにいた。言葉も通じず、衣食住からすべてに不慣れで苦労が多かつたが、英語、音楽、西洋料理などの教授で人脈を作り、土地の病人を訪問するなどして、充実した日々を過ごした。

新しく土地を買い、一九三五年、花園町に修道院を新築したが、当時は田園の中にそびえる西洋建築として、市民の話題を呼んだ。(当時、ここ一帯は「露内」と呼ばれていたが、後年このあたりが住宅地となり、修道院の庭園が名所のようになってから、花園町の一部が「花園町」と名付けられた。)

シスターは修道院内に、一九三六年「露内診療所」を開設し、三八年には幼稚園も開園した。カナダから、援軍の会員たちも次々と到着した。しかし、日中戦争、続いて太平洋戦争と国際情勢は悪化し、敵国人であつたカナダのシスターは、会津若松に連行・軟禁され、花園町修道院は一九四二年七月に日本政府に明け渡しを命じられる。これが、日本の領海で拿捕された外国客船の船客たちの収容所に充てられた。海老弥六神父は、すでに遠藤雅子氏や福島民友社の紹野滋氏の著書などで知られている。

そして戦後、CNDの手に戻った土地や建物で、桜の聖母学院の教育が始められて、今日に至っているが、戦時中もカナダ人と共に踏みとどまつた勇敢な最初の日本人会員三名のおかげで、この波乱に富んだ年月に実りと祝福があつたことを付記したい。

シスター 今泉ヒナ子 CND (元学長)

本紹介

96歳の輝き シスター・ボッセの自伝出版



「いるのに居ない人、だあれ?」「ルス様」——これは、5~60年前の聖母つ子たちに流行ったナゾナゾ。音楽教師として皆に愛されていたシスター・ジャンヌ・ボッセのことだ。修道名がフランス語で「リュス・ド・ロム」(ローマのルチア)だったので、修道名廃止の1966年まで、ルス様と呼ばれた。

修道会の通例で、カナダ人宣教師シスター・ボッセも福島、北九州、調布と転任した。現在は調布で、週5日聖書のクラスを持つ現役。ミサのオルガン伴奏もする。この年だから当然持病はあるが、その対策はきちんと取っていて、輝くばかりの96歳である。

人目を惹くことのない人柄で、毎日を当たり前のように修道院で過ごしているが、ある日ジャーナリストの関心を引き、自伝的エッセイ集『あわせは微笑みが連れてくる』が出版された。メディアファクトリー社刊、952円。全国的にベストセラーとなつてゐる。

計報

CNDニュース



シスター 横澤 澄子先生 帰天
1933年10月15日 山口県生まれ
1969年 8月29日 終生誓願
2012年10月29日 帰天
桜の聖母幼稚園園長・小学校長、
明治学園小学校長、桜の聖母学院理事長歴任



シスター 穴澤 政子先生 帰天
1916年12月17日 会津若松市生まれ
1954年 9月 8日 終生誓願
2012年 9月25日 帰天
絵はがき「秋の修道院・切絵などの作品でお馴染み

「ングレガシオン・ド・ノートルダム修道会が、一九三五年、花園町に本格的な修道院を建てたことは、別記のとおりである。チエコの著名な建築家ヤン・スワガーの設計になり、建材も工事も、心をこめて選ばれ、実施されたもので、地域でも名だたる建築物となつた。

しかし、戦時の政府への明け渡しと、手荒な扱いに、戦後の窮乏時代が相次ぎ、外見上の美観とは裏腹に、内部の老朽化が進んでしまつた。CNDは一〇〇〇年に、花園町に別の新修道院を建てて会員をそこに移し、旧修道院の建物の使える

このあたりが住宅地となり、修道院の庭園が名所のようになってから、花園町の一部が「花園町」と名付けられた。シスターは修道院内に、一九三六年「露内診療所」を開設し、三八年には幼稚園も開園した。カナダから、援軍の会員たちも次々と到着した。しかし、日中戦争、続いて太平洋戦争と国際情勢は悪化し、敵国人であつたカナダのシスターは、会津若松に連行・軟禁され、花園町修道院は一九四二年七月に日本政府に明け渡しを命じられる。これが、日本の領海で拿捕された外国客船の船客たちの収容所に充てられた。海老弥六神父は、すでに遠藤雅子氏や福島民友社の紹野滋氏の著書などで知られている。

東日本大震災の被害は旧修道院にも及び、多くの方々の反対意見や善意のご助言を浴びながらも、経済的理由から解体に踏み切つた。思い出といい、精神的遺産といい、まことに価値ある家であったから、この家の存在の証しを何らかの形で残したいと切望したCNDが、桜の聖母短大二階の一室を利用して「ングレガシオン・ド・ノートルダム記念室」と称する一角を設けた。一見古物商のような部屋だが、ぜひ、じっくりと訪れてみていただきたい。写真、工芸品、昔の日用品・家具・用具、文書や書籍など、卒業生や旧職員について、聖母ならではの掛け替えのない想い出の品々が多数発見されることだろう。特に、同窓会の寄付による旧修道院とチャペルの見事なミニチュアチュアは、圧倒的な感動を呼んでいる。

ロンドン五輪に

桜の聖母短期大学 54回生
生活科学科 福祉 こども専攻
福祉デザインコース卒
山梨学院大学4年

加藤和さん



県の皆さんと、中
した桜の聖母学
に応援していただき
、ロンドンオ
リンピックの舞
台に立つことが
できたと思って
います。ありがとうございます。
うございまし
た。震災に遭つ
た人たちが私を
応援してください
り、とても胸が
締め付けられる

想いでしたが、応援してくださる皆さんに少しでも恩返しができればと思い、最後まであきらめずに泳ぎきることができました。今回、ロンドンオリンピックの会場に入つて、とても不思議な感覚がありました。夢だったオリンピックの舞台に立つていて、信じられなかつたのです。また、今回の競泳選手団は戦後最多のメダル獲得となりました。そんなすばらしいチームの一員として、ロンドンオリンピックに望めたことを誇りに思いました。水泳を通して沢山のこと経験し、学ぶことができました。これも、理解のある皆さんとの協力があつてのことだと思います。本当にありがとうございました。



「福島学における」 移動文化祭プロジェクト

生活科学科 福祉こども専攻
ライフデザインコース

実行委員長
本間 智絵
さちえ



「街の人生は生き
し、自分の夢や「目
標」に向かっていき
たいです。」



「福島学」は学年・学科を超えて履修者がいるため全員で集まる時間には限りがありました。しかし、本番が近づくにつれて「絶対に南相馬の方々に喜んでもらえる文化祭にしたい」という全員の思いが強く感じられるようになりました。そして当曰は、たくさんの方と笑顔を「共有」でき、また新たなつながりを「結う」ことができました。全員の想いと力が結集したからこそその移動文化祭だったと感じています。実行委員長を務めて学んだことは多く、非常に貴重な経験をさせていただ



あかしや祭協賛

平成24年11月3日(土)学生会主催の「あかしや祭」に、同窓会も協賛しました。

今回は、コーヒーローナー、会員の方々の作品展示、短大エンブレム型のサブレ等の販売をいたしました。たくさんの方々に参加協力していただきありがとうございました。



東京支部の思い出



東京支部長H22～H23・6在任

大川美保子

東京支部設立の時からくらべると今では、東京と福島はとても近くなりました。そうしたなか、同窓会全体で支部のありかたを新たに考えようというこになり、東京支部も一度ピリオド

をつつことになりました。思い出はたくさんあります。その中でも一番の思い出というと、「東京支部の集まり」です。シスター一方、先生方にもおいでいただき、お話をうかがい、近況や思ふことなどをはなし合い、いつも、心があたたかく、明るくなり、又、それとの場所でがんばりましょうと元気をいたいたものでした。新しかったちで再びお会いできることと楽しみにしています。たくさんの感謝とともに、その日まで、ごきげんよう。

プラッターの植替え作業

今年も春と秋の2回、学生通用門と生涯学習センター入り口に花の寄せ植えをしました。



学生や来客の方の心を和ませてくれています。学校にお越しの際は、花をながめて下さい。

第7回 いじじの広場

一感謝と希望に生きる一

平成25年1月20日(日)に花園町修道院に於いて開催されました。

修道院院長 笠原節子先生と今泉ヒナ子先生のご指導をいただき、22名の参加者は日々の忙しさから解放され心癒される楽しいひと時を過ごしました。



第8回 いじじの広場予定

日 時 / 平成25年11月9日(土)
午前10時～午後3時30分

会 場 / 花園町修道院

リーダー / Sr.笠原節子先生

テー マ / 未定

会 費 / 1,000円(当日)
参 加 ご 希 望 の 方 は 、事 務 局 ま で お 申 し 込
み 下 さ い。

第31期一本松支部役員名

| 会長 | 副会長 | 会務計 | 庶務 | 庶務 | 会員名 | 回生 | 会員名 | 回生 | 会員名 | 回生 | 会員名 | 回生 | 会員名 | 回生 | 会員名 | 回生 | 会員名 | 回生 | 会員名 |
|-------|-------|-------|-------|------|------|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|-------------|-----------------|----|-----|-----|-----|
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | 高橋悦子 | 15 | 15 | 15 | 8 | 13 | E | K | 22 | H23.10.22発足 | 7名(H23.10.22発足) | 会長 | 副会長 | 会務計 | |
| 岡田 洋子 | 石川 美知 | 佐藤恵美子 | 安斎三重子 | 久納淳子 | | | | | | | | | | | | | | | |

